

(様式2)

「京丹後市水道事業ビジョン」(案)の概要

1 水道事業ビジョンの趣旨

本市では、水道事業経営の効率化、安全で利便性の高い生活基盤の整備及びおいしい水の安定供給を目的として、京丹後市が発足した平成16年に「京丹後市水道事業基本計画」を策定し、一層の拡充等の見直しも行いながら現在20年目にあたり、第4次基本計画として水道事業を進めています。

この間、国においては、給水人口や給水量の減少を前提に、老朽化施設の更新需要に対応するために様々な施策を講じなければならない時代の到来、加えて東日本大震災の経験を踏まえ、平成25年3月に「新水道ビジョン」を策定・公表し、50年後、100年後の将来を見据えた水道の理想像を明示するとともに、その理想像を具現化するため、今後、当面の間に取り組むべき事項、方策を提示しました。また、平成30年12月には、水道の基盤強化を図ることを目的に、水道法の改正(令和元年10月施行)を行いました。

京都府においても、平成30年11月に、府内全域の水道事業の方向性を示す「京都水道グランドデザイン」を策定し、令和5年3月には広域化に係る記載内容を充実する改定を行いました。

こうした背景から、第4次基本計画の目的等を引き継ぎ、国の「新水道ビジョン」、京都府の「京都水道グランドデザイン」を踏まえ、「持続」「安全」「強靱」を柱とした将来に続く水道事業として、「京丹後市水道事業ビジョン」を策定します。

2 水道事業ビジョン「基本理念」にあたるご意見について

京丹後市水道事業ビジョンでは、50年、100年先の将来に続く水道事業として、「持続」「安全」「強靱」の観点から、基本理念を定める予定です。

水道事業ビジョンに対するご意見とともに、ふさわしい基本理念にあたるご意見等をお待ちしております。

(仮称)「郷土を支え未来に続く信頼の水」

3 水道事業ビジョンの構成

第1章 水道事業ビジョン策定の背景及び位置付け

- 1-1. 水道事業ビジョン策定の背景
- 1-2. 水道事業ビジョンの位置付け

第2章 京丹後市水道事業の概要

- 2-1. 京丹後市の概要
- 2-2. 京丹後市水道事業の概要
- 2-3. 関連計画

(様式2)

第3章 現状評価・課題

- 3-1. 京丹後市水道事業の現状評価に当たって
- 3-2. 京丹後市水道事業の現状評価
- 3-3. 現状評価の課題

第4章 将来の事業環境

- 4-1. 外部環境
- 4-2. 内部環境

第5章 理想像と目標設定

- 5-1. 目指す理想像 基本理念及び基本方針
- 5-2. 基本目標
- 5-3. 計画期間

第6章 推進する実現方策

- 6-1. 方策の体系図
- 6-2. 健全経営を持続できる水道
- 6-3. 安心・安全で信頼される水道
- 6-4. 災害や危機管理に強い強靱な水道

第7章 フォローアップ（進捗管理）

- 7-1. フォローアップ（進捗管理）

用語集

水道施設配置図

4 施行期日について

令和6年4月1日から施行します。